



31 話「サイレン魔の誘惑」のクレイグ・チャールズ

こうしてデイブ・リスターとホリーが誕生した。しかし彼らは RD を『Dave Hollins - Space Cadet』とは可能な限り違うものにしよとを考えていた。そこで生まれたのがホログラムのアーノルド・J・リマーである。そして猫から進化した猫人間 (FELIX SAPIENS)

のキャットに回想シーンやホログラムとしてたびたび登場するリスターの憧れの女性クリスティーン・コチャンスキーというキャラクターが生まれた。

1983 年には「situation comedy in space」というサブタイトルのもと RD パイロット版の脚本が書かれた。ロブとダグは RD を John Lloyd と Paul Jackson という 2 人のプロデューサーに委ねた。Jhon と Paul の 2 人は『ブラック・アダー』や『The Young Ones』のプロデューサーとして有名である。

そして Paul Jackson はマンチェスターにある BBC North を説得し、6 話からなる 1st シリーズの製作を採りつけたのだった。

ダグとロブは RD の製作が決定すると出演者のオーディションを開催した。最初にキャストに決定したのはコンピュータのホリー役ノーマン・ロヴェットだった。しかし彼はアーノルド・リマー役でオーディションを受けていた。

次にキャット役のダニー・ジョン・ジュールズが参加することが決定した。

一方、プロデューサーの Paul Jackson は『サタデー・ナイト・ライブ』に出演していたクレイグ・チャールズにキャット役でオーディションを受けるように連絡していた。しかし、実際にクレイグに会った Paul は彼がキャットというよりも

ダニー・ジョン・ジュールズ



リスターにぴったりの俳優だと考え、彼をデイブ・リスターの役へ薦める。

そして最後にホログラムのリマー役にクリス・バリーが選ばれた。だが、クリス・バリーも当初はリマー役ではなく、リスターの役でオーディションに参加していたのだった。

こうしてキャストが決定し、撮影がマンチェスターのオックスフォード・ロード・スタジオで開始された。

1988 年 2 月 15 日 1st シーズン

1988 年 2 月 15 日、BBC2 にて第 1 話『THE END』が放送された。

しかし、批評家にはシリーズものは成功しないと評価されたり、撮影前には BBC の技術者のストライキや、ダグ・ネイラーも認めているかなりチープな舞台セットと衣装など、かならずしも順調な滑り出しとはいかなかったようである。

だが、特撮監督に『サンダーバード』や『Dr.WHO』などをてがけた Peter Wragg の特殊撮影や Howard Goddall の音楽と Jenna Russell が唄うテーマ・ソング、そして、Altered Images というバンドのポップ・シンガーから女優に転向した C.P.Grogan が初期コチャンスキーを演じるなど目を引く点もあった。

1988 年 9 月 6 日 2nd シーズン

1st シーズンの最終話『ME2 (邦題：2 人リマーで大混乱)』放送終了後、多くの反響の手紙が BBC に届き、また視聴者の評価が高かったことにより、BBC はすぐに 2nd シーズンの製作を決定した。

2nd シーズンの第 1 話『KRYTEN (邦題：はじめまして、哀愁のアンドロイド)』では 3rd シーズンからレギュラーと

ノーマン・ロヴェット



ヘティ・ヘイリッジ

と同じく 3rd シーズンからレギュラーとなるヘティ・ヘイリッジ演じる女性型シップ・コンピュータのヒリーが『PARALLEL UNIVERSE (邦題：となりの宇宙は女性天国)』で初登場する。

1989 年 11 月 14 日 3rd シーズン

この 3rd シーズンから RD には多くの変化が見られる。まずロブとダグがグラント・ネイラー・プロダクションを設立し、予算が大幅に増えた RD の製作を行うことになった。

次に見られる大きな変化は出演者についてである。ホリー役のノーマンが 3rd シーズンから RD を降板することになったのだ。この理由についてはギャラの問題や、彼がエジンバラに引っ越したことにより、リハーサルのためにロンドンに行き、撮影のためにマンチェスターに行くという生活に疲れたなどと言われている。

このことにより、2nd シーズンでホリーのカウンターパートであるヒリーを演じたヘティに白羽の矢が立ったのだ。

そしてロブとダグは次にロボット・キャラクターがいると話がバリエーションに富むと考え 2nd シーズンに登場したクライテンをレギュラーへと考えた。しかしクライテンを演じた David Ross はすでに舞台の出演などにより撮影に参加できなくなってしまっていた。そこでプロデューサーの Paul は 1988 年のエジンバラ・フェスティバルで『Mammon, Robot Born of Woman』という舞台でロボットを演じてい

なるメカノイドのクライテンが初登場となる。しかし、この回だけはクライテンの役はロバート・ルエリンではなく、David Ross が演じていた。

また、クライテン

たロバート・ルエリンを観ていたことから、彼にクライテン役をオファーするのだった。

これらの大きな変化は実は 3rd シーズン第 1 話『BACKWARDS (邦題：世界は逆に回ってる)』の冒頭でスター・ウォーズの OP

の流れる字幕 (超高速に流れるのでビデオでスローにしないと読めない!!) のように説明されている。その内容は「リスターは生んだ子供を異常成長促進から守るために平行宇宙に戻し、クライテンはバイクで宇宙



ロバート・ルエリン

に飛び出した後に、アステロイドにぶつかり壊れる。そしてリスターが修理するが、失敗して性格が変わってしまった。ホリーはというと性転換していた」という内容である。これは残念ながら日本語版ではカットされている。

1991 年 2 月 14 日 4th シーズン

RD の撮影に使われていたマンチェスターのオックスフォード・ロード・スタジオのリフォームが行われることになり、4th シーズンの撮影がここでは不可能になってしまった。そこでグラント・ネイラー・プロダクションは RD の撮影をシェパトン・スタジオに移すことに決定した。この事は結果的にはシェパトン・スタジオがロケーションに恵まれており、スタジオ・セットも豊富だったことで、作品的にはプラスに働いたのだった。

またこの年には特殊撮影担当の Peter Wragg の撮影班が“World Television Society Award”の特殊撮影部門を受賞した。

1992 年 2 月 20 日 5th シーズン

5th シーズンから今まで演出を勤めてきたエド・バイが妻であるルビー・ワックスのミュージカルの演出のために 5th シーズンの『HOLOSHIP (邦題：ホ